

1-6(2) 令和5年度 橋立小学校・橋立中学校連携基本構想

1. 基本理念 ～ 9年間の連続した学びと育ちの保障 ～

併設型連携校として、小学校1年から中学校3年までの9年間における児童生徒の発達や成長を的確に捉え、学年や学校種での区切りを大切にしながら、連続性のある教育活動を展開する。

2. 指導に関すること ～ 学校教育目標を達成するために ～

(1) 「確かな学力の向上と定着」

① 目指す児童生徒像・授業像の確立

・授業規律の確立のための小中共通の学習ルール（返事・授業準備・立って発言・話に反応する）の踏襲 <北前プロジェクトの継続実践と進化へ>

・目標達成にこだわった授業実践と授業改善の推進

<つけたい力を明確にする課題明示、個人思考・学び合い、まとめ・適用題・ふり返り>

② 学力向上ロードマップを基に組織的・継続的に進め、分かりやすく質の高い授業への取組

・学力調査等の分析と活用による指導改善

・学校研究及び学力向上プランでの共通の視点と目指す授業像の共有化

・小中相互授業参観、小中合同研修会（合同授業研究会、指導案検討・模擬授業に参加）等

③ ICTの効果的、効率的な活用

・教材としてのタブレット端末の利用の共通認識と、各種研修等で得た活用における知識とスキルの共有

・発達段階に応じた情報活用能力を育成する取組の充実とデジタルテクノロジーの活用による学習履歴と家庭教育も連動させた授業改善

④ 基礎基本の定着の手立て

<小学校> 中学校の学習や取組を見通した指導ができるように連携

・朝読書タイム、スキルタイム、自主学習ノートの取組とノート交流会

・学期末の漢字、計算の習熟度テストの実施、検証と再テストの実施による定着 等

<中学校> 小学校の取り組みを生かしていけるように連携

・学習チェック表（定期テスト前）による目標設定と学習計画の作成（2週間前）

・定期テスト前放課後学習の実施 ・長期休業中の補習 ・英検、漢検、数検の推奨 等

<共通>

・授業終末の適応問題や宿題に学力調査等を活用 ・クラウド教材の活用

・各教科の授業の中でドリルや小テストの実施 ・宿題提出の徹底、丁寧な点検と指導

・家庭学習の支援と啓発（家庭学習の手引き、学び通信、家庭学習がんばり週間の取組）等

⑤ 主体的・対話的で深い学びの実現のための手立て

<小学校>

・活用力問題への取組（かもめタイム、パワーアップタイム、単元末、長期休業中の宿題）

・朝の作文タイムで記事を読んで感想を書くなどの取組（高学年） 等

<中学校>

・学力調査問題の積極的活用（授業での解説・定期テストへの応用）

・パワーアッププリントや放課後補充学習時のプラスプリント（教科担任からの解説）

・N I Eの取組を継続（読解力・コメント力の向上） 等

⑥ 個別最適な学び・協働的な学びに向けて

・公開授業や校外研修の積極的な参加及び実践を前提とした校内研修の実施

・単元構想のもと、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による社会の中で活躍できる児童生徒の育成

(2) 「豊かな心の育成」

① 小中共通の生活目標やルールを生かし、安心・安全の風土の醸成を基盤とした、安定した学校生活づくり

・問題がある行動を見逃さず、毅然とした態度での指導

<間違ったことを言っても笑われない安心して授業を受けられる雰囲気づくり 等>

- ・教師が支援しながら、児童生徒に考えさせる場や時間の設定
 <自分たちで決めたルール（学級目標等）を守ろうとする意識を持たせる 等>

- ② 生徒指導の3機能（自己存在感の感受・共感的人間関係の育成・自己決定の場の提供）を生かした授業づくりや活動の設定
 - ・目標を生かした行動目標の設定や振り返り、集会の活用
- ③ 道徳教育、人権教育の充実と推進
- ④ 面談、アンケート、関係機関等の活用によるいじめ・不登校の未然防止と早期発見・対応
 - ・児童生徒全員へのアンケートと面談
 - ・Q U検査と結果を基にした研修会
 - ・児童生徒理解、特別支援教育、教育相談の取組と合同研修会の実施
 - ・生徒情報の共有と指導支援への共通理解と実践
 - ・相談活動（相談室の活用、スクールカウンセラーの活用）
 - ・関係機関等との連携
- ⑤ その他
 - ・生活のきまりの指導内容の共通理解と共有（挨拶・清掃・給食・図書室使用マナー等）
 - ・キャリアパスポートを活用した系統的な指導の推進
 - ・読書活動の推進

（3）「健やかな体の育成」

- ① 健全な生活習慣育成の取組
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん」の取組
 - ・「元気アップ週間」生活調べ
 - ・P T A活動とリンクした保護者への啓発
 - ・合同学校保健委員会の開催
- ② 食育の推進と食の安全指導の徹底
 - ・地域食材を用いた食育
 - ・ランチルームでの給食（ルールやマナーの指導の徹底）
- ③ 疾病の予防と早期治療による健康管理、健康に関する保健指導の充実
- ④ 運動意欲と体力の向上
 - ・小学校：スポチャレ、なわとび大会、部活動体験（小5・6年参加で長期休業中に実施）
 - ・中学校：体力向上1校1プラン、部活動の効果的な取組
 - ・持久力強化（体育の準備運動でランニングの取り入れ、マラソン大会の実施）
 - ・運動会と体育祭の交流（中学生による用具運搬、小学生の観覧）

（4）「小中連携の推進と保護者・地域とのつながり」

【小中連携の推進】

- ① 9年間のつながりを生かした取組や情報交換、学力向上と健全育成
 - ・学力調査結果・学力向上プランの共有
 - ・授業相互参観
 - ・出前授業
 - ・中学生による小学校児童への読み聞かせ
 - ・合同文化祭の開催と相互鑑賞
- ② 特別支援教育の充実 ～全校体制による支援の推進～
 - ・個のニーズ応じたきめ細やかな支援（T T授業等）
 - ・関係機関との連携と職員研修

【保護者・地域とのつながり】

- ① 学校運営協議会（コミュニティ・スクール / C S）の創設と確立
 - ◇ 学校運営協議会を中心とし、学校と地域・保護者をつなぎ、学校のパートナーとして地域全体で、「地域とともにある学校づくり」を推進
 - ・学校行事、交流行事、P T A行事の合同開催や協力
 - ・地域人材の活用による食育、伝統文化の継承、職業講話、ふるさと学習 等
- ② 家庭学習強調週間の取組
- ③ ホームページや各種便りによる学校公開と学校評価を生かした教育活動の改善
- ④ 浜清掃、特別支援学校との交流

（5）「組織的・機能的な学校運営」

- ① 小中職員の連携・分担による学校マネジメント（企画運営委員会）
- ② 主任等による機能的な校務分掌の取組
- ③ ワークライフバランスのとれた協力協働の職場づくり
- ④ デジタルテクノロジーを活用した業務効率化の推進
- ⑤ 校内外の研修等による人材育成の推進
- ⑥ 危機管理意識の徹底と情報共有